

# 全国連盟通信

第31期 No.8  
2015年9月15日  
発行責任者  
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402  
TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403  
Eメール: zenkoku@njsf.net URL http://www.njsf.net

つなごう 支援の輪

創立50周年記念

## 国際シンポジウム・記念レセプションに みんな集まりましょう (11月7日)



**創立 50周年を運動と組織の前進の中で迎えよう**

国際シンポジウム  
国際シンポジウム&創立50周年記念レセプション

とき 2015 11 | 7 (土)

- 国際シンポジウム \*開演12時10分 閉会12時50分 詳細は裏面
- 参加国 韓国 体育界連連等
- フランス FSGT(フランス勤労者スポーツ・体操連盟)
- 日本 新日本スポーツ連盟
- 記念レセプション \*開演17時00分 閉会17時30分
- 参加費 一般8,000円 若手(40歳未満)5,000円
- レセプション (個人とクラブを差別し、文化行事を含む企画イベントを開催します!)

会場 **北とぴあ** JR京浜東北線 東武東上線 東武東横線 東武東横線 東武東横線  
東京都北区王子1-11-1 TEL: 03-6390-1100  
14Fスカイホール:国際シンポジウム 16F大ホール:記念レセプション

連絡先 新日本スポーツ連盟全国連盟  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402  
TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403 MAIL: zenkoku@njsf.net

創立50周年を記念する日まで、2ヵ月を切りました。いよいよです。

50年という年月は、地球の歴史に比べれば一瞬ですが、それぞれの人の歴史ということでは、半生を優に越えるでしょう。スポーツ連盟との年月ということでは、自身の充実した年月と重なっているのではないのでしょうか。ちょっと情緒的な表現になりましたが、そうだろうと思うのです。

繰り返しになりますが、50周年記念事業は7つあります。発足したもの、終了したもの、進行中のもの、準備中のものなどさまざまです。

夏に取り組み始めた「被爆70年福島～東京～広島～長崎反核・平和マラソン」は、関係者の発案と努力によって、震災・原発被災地福島から被爆地広島・長崎を結ぶ1800kmで行なわれました。韓国・フランスからの平和のランナーも参加し、国際交流も一段と前進しました。

そして迎えるのが、11月7日(土)の国際シンポジウムと記念レセプションです。

国際シンポジウムは、初めての企画です。運営の難しさがたくさんあると思いますが、自分たちの理念や活動を国際的な視野で考える上で、大きな役割を果たすでしょう。

記念レセプションは、連盟内外の関係者が集い、大きな交流の場となるでしょう。顕彰も行われます。ここに多くの連盟関係者が、都道府県連盟から全国種目組織から集うことが、記念事業を大きく成功させる意味でも、大変大切だと思います。

お互いに顔を見合わせながら杯を酌み交わし、来し方を共有し行く末を構想することが、わが国スポーツの平和的・民主的な発展に、積極的な役割を果たすことになると考えるからです。(新日本スポーツ連盟会長 永井博)



フェイスブックで配信  
facebook.com/909787989093667

↑「いいね!」押してね  
メッセージ募集中です



# 連盟を支えた個人・クラブを顕彰します

草創期に活躍した個人と在籍30年以上クラブの推薦を募集中

創立50周年記念事業のひとつとして、創立前後に連盟の基礎を築いた個人と在籍30年以上の加盟クラブの顕彰を進めています。

8月末の各組織からの推薦状況は、個人は、6都府県(宮城、千葉、東京、三重、石川、大阪)から10名、クラブは2都県(宮城、東京)から卓球8クラブ、水泳6クラブ、スキー16クラブ、バレー2クラブ、テニス2クラブ、野球1クラブ、登山1クラブの合計36クラブの推薦があり、顕彰委員会で審査し、承認しています。(詳細の一覧は下記の一覧を参照)

顕彰委員会では、この間、各組織の現執行部が創立当時前後に活動していた人を十分に把握し切れていないという状況がある中で、「こういう人がいるよ」と紹介したり援助をしてきました。同様にクラブの掘り起しも種目組織や都道府県が中心となって進めています。30年前に在籍していたかどうかの確認作業が大変なようです。

自分たちの組織の歴史や伝統やどう伝えていくか

が大事だと思いました。

## 今後の取組み

- ・まだ、多くの県から推薦がありません。もう一度、各組織が自分たちの組織の歴史を振り返り、推薦対象の個人とクラブがないか調べてください。
- ・顕彰対象の個人、クラブの一覧表の作成
- ・表彰状の作成

新日本スポーツ連盟は、50年の歴史の中でさまざまな困難にあいながらも、地域に根を張ったスポーツ活動を粘り強く続け、発展を遂げてきました。その原動力となったのは、連盟を支えてこられた多くの会員と加盟クラブです。11月12日の創立記念日にはこのような人達と一緒にこぞってお祝いし、次の未来に向かって邁進できるようにしたいものです。

(50周年記念顕彰委員会 北川 登)

## 50周年記念顕彰個人クラブ申請一覧

### ▼個人

吉井俊則(個人・東京都連盟推薦)  
楠英介(石川テニス協・石川県連盟推薦)  
徳田稔(全国野球協・千葉県連盟推薦)  
紀平孝子(ハイキング・三重県連盟推薦)  
村田武彦(ランニングセンター三重・三重県連盟推薦)  
紀平正樹(三重スキー協・三重県連盟推薦)  
尾崎吉彦(宮城水泳協・宮城県連盟推薦)  
赤間弘記(宮城県勤労者山岳連盟・宮城県連盟推薦)  
川野弘之(大阪ウォーキングクラブ・大阪府連盟推薦)  
阪上光明(個人・大阪府連盟推薦)

### ▼クラブ

永福卓球クラブ(杉並卓球協・全国卓球推薦)  
杉並ハンダリーズ(杉並卓球協・全国卓球推薦)  
卓泉会(中野卓球協・全国卓球協推薦)  
新山クラブ(中野卓球協・全国卓球協推薦)  
四谷クラブ(新宿卓球協・全国卓球協推薦)  
若葉クラブ(杉並卓球協・全国卓球協推薦)  
若草クラブ(杉並卓球協・全国卓球協推薦)  
ザブン(江東水泳連絡会・東京都連盟推薦)  
るんるん水泳クラブ(江東水泳連絡会・東京都連盟推薦)  
江東イルカ水泳クラブ(江東水泳連絡会・東京都連盟推薦)  
あめんぼ(江東水泳連絡会・東京都連盟推薦)  
火曜クラブ(江東水泳連絡会・東京都連盟推薦)

板橋スキークラブ(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
エーデルヴァイス(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
銀嶺スキークラブ(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
スキークラブこなゆき(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
S, Cコロポックル(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
シュプール(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
ストック西蒲田(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
スノーモンスター(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
ラ・ランドネ(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
中野SNOW(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
西荻スキークラブまつくろけ(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
ホワイトベア(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
町田シャスネージュ(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
みなとしゅぶーる(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
モルゲンローテSC(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
ゆきすぎ(東京スキー協議会・東京都連盟推薦)  
朋友会(宮城県勤労者山岳連盟・宮城県連盟推薦)  
マコトザウルス(北区連盟・東京都連盟推薦)  
西が丘水泳クラブ(北区連盟・東京都連盟推薦)  
北斗会(北区連盟・東京都連盟推薦)  
まりの会(北区連盟・東京都連盟推薦)  
サンシング(北区連盟・東京都連盟推薦)  
シングトップ(北区連盟・東京都連盟推薦)

2015年8月31日現在

# 核兵器廃絶と平和をアピールした2週間

被爆70年 1800km福島～東京～広島～長崎反核平和マラソン



被爆70年の今年、新日本スポーツ連盟の50周年の事業として、当初から「東京～広島～長崎1500km反核平和マラソン」が計画されて準備が進められてきましたが、それに加えて「全法務労働組合」から「今年は是非福島からタスキをつなごう」という申し入れに応え、急きょ福島～東京間の300km反核平和マラソンの実行委員会も立ち上がることになりました。

こうして、福島県浪江町の帰還困難区域をスタート地点として「1800km福島～東京～広島～長崎反核平和マラソン」という連続した事業として開催にこぎつけました。

今回の事業の成果と課題を挙げれば、

①福島～東京間で、反核平和マラソンが初めて取り組まれ、福島県民を励ます役割を果たし、今後に継続して運動を広げるきっかけを作ることができました。とりわけ、福島県民医連の取り組みは、大きな広がりとなり、反核平和マラソンを実感してもらえたことは大きな収穫です。

②今回は、各ブロックの責任体制を強化して準備が進められました。これまで、神奈川ランニングセンターを中心としたいわゆるメインランナー体制から大きく変化して、5年後への足掛かりを築く結果になりました。一方で、ブロックごとの体制を強化するための課題(別項)も浮き彫りになり、次回開催への足掛かりを作りました。

③FSGTと韓国体育市民連帯の招待ランナー及びESスタン陸上クラブの25人のメンバーを加えて開催できたことで、反核平和マラソンの運動が海外に広がる大きなきっかけを作りました。とりわけ、異文化研修の一環としてESスタンのメンバーがまた多くの人々に反核平和の運動を広げる役割を担ってくれるものと確信することが出来ました。

④福島原発の被害が人間の生きることを脅かす

事態になっていること、町がそっくり機能を失い、コミュニティーが崩れていること、そして、戦争法案がゴリ押しされようとしている事態に国民が直面していることなど、平和を脅かす事態に遭遇していることが沿道の人々の声援や関心に大きな変化をもたらしていることがどこのコースでもランナーやスタッフが感じ取っています。こうした変化をくみ取って、8月8日の最終日まで、走りとおしたことは大きな成果となりました。

⑤「反核平和スポーツのつどいin広島」の全体像がより鮮明になりました。8月2日の平和卓球大会、8月5日の戦跡めぐり、原爆資料館見学、1800kmランナーの出迎え、そして交流の夕べ、8月6日の広島城公園周回反核平和マラソン、ランナーの送り出し、平和ウォーキング、平和のうたごえとたくさん企画が行われました。とりわけ、広島県連盟の結成と海外からのランナーの参加で、「交流の夕べ」は100人を超える参加者を数え、全国各地の反核平和マラソンの紹介も含めて、有意義な取り組みとなりました。

⑥5年後の開催を早く決定して、ブロックごとの体制を早く作ること。そして、予算化を早く進めることが課題の一つとして挙げられています。

⑦参加するランナーの組織はブロックごとに走るランナーを中心にする体制に切り替えることや参加ランナーの個人負担を軽減する措置を図るなど大いに検討する余地がある、などがあります。

全国各地で取り組まれている反核平和マラソンも含め、多くの労働組合や市民団体の支援を得て、協働した運動として反核平和マラソンが広がっていることを重視し、今後とも広くこの運動を広げ、多くのランナーが参加できる取り組みとなるように、知恵と力を絞ることが求められています。

(スポーツ権・平和運動局長 萩原純一)

# 50周年記念1800km反核平和マラソンの国際交流

2015年の反核平和マラソンには、韓国体育市民連帯からキム・ドクチンさん、アン・ベヒョンさん、ジン・ヒョンジュさんが代表団として参加しました。

キムさんは東京～広島～長崎を、アンさんとジンさんは広島～長崎を走りました。フランスのFSGTからは、ルルージュ・クロードさん、マーレル・ジルさん、マーレル・エマニュエルさん、レモン・クレモンさん、ブレッソン・オーレリさんが代表団として広島～長崎を走りました。今年は東京～広島～長崎1500キロに加えて、福島～東京300キロが実現しました。そもそも福島から走ることを提案したのは、2013年に韓国で開かれた国際平和フォーラムに参加したFSGTのメンバーです。彼らは福島原発事故をとっても心配していたのです。50周年記念事業で実現できたことは意義のあることです。

韓国体育市民連帯のアンさんとジンさんは福岡から入国したので、福岡の皆さんにお世話になりました。FSGTの代表団は、一部で到着が遅れるなど、混乱したスタートでした。アクシデントにもめ



げず、広島の「碑めぐり」は猛暑のなかでしたが、ガイドさんの説明を熱心に聞いていました。またFSGTの代表団は関西のランニング関係者とランニングと観光で交流しました。

反核平和マラソンを通して、フランス・韓国・日本の文化交流が次につながるといいと思います。広島～長崎で体験する雑魚寝はフランスではありえないことです。でもそれを愉しむことができるのがスポーツの素晴らしさです。(国際活動局長 小林章子)

## 仏ESスタン代表団 25人で広島～長崎つなぐ

ESスタンの青年研修代表団25人は、8月4日来日し、広島平和の集い、広島～長崎反核平和マラソンへの参加、剣道体験教室、スポーツ連盟事務所での歓迎パーティー、そして関西・関東での観光と超過密な日程をこなし、8月16日帰国しました。これは、成田空港でお別れの挨拶の要約です。

昨夜、森のビアガーデンでの最後のパーティーで挨拶しましたが、酔っぱらっていて何を話したか覚えていませんので、あらためてNJSFを代表して皆さんにお礼を申し上げます。

ESスタンの25人の代表団は、広島～長崎反核平和マラソンの成功に不可欠な役割を果たしました。皆さんは「ゲスト」ではなく、同じ目的を実現する「真のパートナー」として活動し行動しました。その行動は、日本と韓国のランナー、そして日本のスタッフに大きな刺激を与え励まし成功を支えました。

ESスタンの今回の挑戦的な企画とこの2週間の日本での活動は、核兵器をなくし、平和の実現をめざ

す世界のスポーツ愛好者の草の根の運動の発展に、貴重な貢献をするものであることを確信します。同時に、ESスタンとともにFSGTとNJSFの連帯をいっそう強固にする役割を果たされました。

皆さんは、フランスに帰って、「過密過酷で刺激的」日本での2週間の経験を思い起こし、これから皆さんが出会うであろう困難に果敢にチャレンジし、素敵な人生を切り開いてください。

このような企画と機会を準備していただいた、エルベ、イザベル、そしてファティ、マリアンジュ、ヴィルジニのスタッフのみなさんに感謝します。ムニールはじめ20人のメンバーのみなさん、本当にありがとう。とりわけ、マリー、元気な赤ちゃんを生んで、そして広島～長崎反核平和マラソンを親子二人で走ってください。

最後に通訳の鎌田さん、あなたの2年前からの献身的な協力が今回の成功を準備したといっても過言ではありません。あらためて感謝します。最後にメルシー!! (全国連盟理事長 和食昭夫)

# 創立50周年を運動と組織の前進の中で迎えよう

今年2月の第31期第1回評議員会で、組織的な前進の中で50周年を迎える取り組みとして、スポーツ連盟の組織拡大は、2015年11月の創立50周年を節目とし、全国的には10%増を目標の目安とし、各連盟組織は自主的な目標を持ち計画を具体化することを決議しました。2014年末の全国連盟の組織現勢(分担金納入基準にもとづく)は、都道府県連盟加盟数で3,332クラブ、36,518人、全国種目組織加盟数で4,181クラブ、55,705人でした。第31回定期全国総会資料(2013年12月の分担金基準組織現勢)からの増減は、都道府県連盟加盟数で▲207クラブ、▲494人の減、全国種目組織加盟数で▲1クラブ、▲286人の減となっています。

連盟の組織拡大は、愛好者の要求と国民のスポーツ権実現、そして全国連盟の財政活動の安定的な強化にとっても急務となっており、6月6、7日に組織拡大交流会議を開催しました。「連盟を元気で大きくするためにはどうすればいいのか」を主題に熱心な議論が行われ、多くのヒントと励まし合いに満ちたつどいとなりました。7月18日には、2年の準備期間

を経て広島県連盟が結成されました。2013年に沖縄少林寺流空手道研究会「広島県本部・命宝会」のよびかけで活動再開の動きがあり、結成を迎えました。空手・卓球・ウォーキングを中心に、ミックスバレー、サッカー大会などに取り組む予定で、早々に卓球250人と命宝会28人の分担金納入がありました。また、5月10日に千葉県勤労者スキー協議会設立総会が開催され、種目クラブでは8月に福井県にウォーキングクラブが誕生しました。

11月8日、第2回評議員会を創立50周年国際シンポジウム&記念レセプションと連動して開催します。この間、各連盟組織が具体的な目標と計画を立ててチャレンジした結果を持ちより、創立50周年を運動と組織の前進の中で迎えましょう。そして、「50周年にむけて」にとどまらず、スポーツ連盟の歴史の新たな出発点するためにも、「スポーツ要求のあるところ『新体連』あり」の原点を想起し、世代や階層の違いを超えて英知を結集し、元気で大きな連盟づくりにチャレンジしましょう。

(スポーツ活動・組織局長 福島邦夫)

## ひろば拡大 創立50周年で目標(2500部)達成を

機関誌「スポーツのひろば」は2014年の全国総会で、290円への値下げを決定し、機関誌売上が減ることになって、その分、普及に努めようと全国的に取り組んでいます。

8月末までに2500部の達成を目指してきましたが、残念ながら現在は2300部に留まっている状態です。

いま、ひろば普及賞として、「種目別に普及の多かった組織に特典をおくる」という取り組みを実施しています(特典=「ひろば」表紙、種目に関連する記事約8頁分)。中間発表では、「野球」がトップ。他の種目も読者拡大に努めていただき、ぜひ11月の50周年は、目標を達成して迎えられるよう、普及のご協力をお願いします。(広報局長 佐藤信樹)



無料宣伝誌  
ランニング特集  
9月号あります

### ひろば普及賞 種目の部 中間発表

第2弾

2015年3月1日から「ひろば」増誌数

1	野球	24部
2	卓球	17部
3	ランニング	9部

ミックスバレー +3部、研究所+2部、バレーボール+1部、テニス+1部、スキー +1部、ウォーキング+1部、水泳-7部  
上記以外は±0部

期間は10月31日まで!

各種目、普及の取り組みをお願いします

# スポーツ連盟50年史を発刊します

『スポーツは万人の権利である 一新日本スポーツ連盟50年の歩み』出版について

1965年に新日本体育連盟として発足し、30年目の1995年に新日本スポーツ連盟へと名称変更して今日まで続けてきたこの50年間の活動を記録に留めたいと考え、連盟50年史を刊行することを決定しました。現在も編集作業を続けていますが、11月7日の連盟50周年記念レセプションまでには刊行できるようにしたいと思います。

私たちが連盟50年史を刊行しようと考えた理由(目的)は以下の通りです。

第1に、連盟の結成の経緯などについて、事実をもとにできるだけ克明に平易に記し、加盟員の日常活動を励ますとともに、国内外のスポーツ関係者に連盟の歴史と活動を知らしめることです。

第2に、今後の連盟の運動にとって必要な思想と活動とネットワークの広がりへの到達点を明らかにすることです。

第3に、創立時の会員や役員に50年史執筆に携わってもらうことによって、生々しい証言を記録するとともに加盟員自身による連盟史という性格を持たせることです。

第4に、以上の要件を満たすために、散逸している連盟関係の資料を収集、整理、分類し、資料目録を作

成すること、そして後世のためにも貴重な資料を残すことです。

連盟50年史の特徴は以下の点にあります。

まずは、本書の執筆に当たった多くの人びとが連盟の活動家であり、自分の人生を連盟の活動とともに送ってきたという経験と自負をもっていることです。従って、通史執筆においても、証言・コラムの執筆においても、強い思い入れをもって、文献・資料からは把握できないことも書き込まれています。また、書き方も、書く分量も、拘り方も濃淡様々であります。

第2に、自主的スポーツ運動組織の歴史を世に問うということは世界を見回してもあまりないことであり、功罪ともなって本書から学ぶことは多々あるであろうということです。私たちは、連盟の組織活動の歴史が戦後日本スポーツ史の重要な一齣として位置付くものであると確信しております。

とにかく、連盟50年史を自分たちの知恵と力で書き上げたことの意義は大きいと思います。多くの加盟員・関係者に読んで頂くとともに、これを使った学習会を多くの機会と場所で催して頂くことを希望します。  
(50年史責任者 青沼裕之)

## 2015年度全国競技大会開催一覧

2015年9月9日現在

水泳	11月3日	東京都	辰巳国際水泳場
軟式野球	11月14日～15日	福岡県	春日公園野球場・桧原公園野球場・筑豊緑地公園球場・大野城市民球場
バレーボール	11月14～15日	徳島県	徳島市立体育館(14～15日)・鳴門市アミノバリュールホール(14日)
卓球 一般	12月19～20日	京都府	京都府立体育館
年代別	16年1月16～17日	岡山県	桃太郎アリーナ
テニス	11月28～29日	高知県	高知市春野総合運動公園
サッカー 東日本	11月22日	宮城県	宮城スタジアム・補助グラウンド
西日本	11月15日	大阪府	J-GREEN 堺
ファイナル	12月13日	千葉県	フクダ電子スクエア
シニア大会	11月28～29日	千葉県	成田中台運動公園
バドミントン 団体戦	6月20～21日	愛知県	名古屋市稲永スポーツセンター
個人戦	12月5～6日	愛知県	名古屋市東スポーツセンター
ソフトボール 東日本	11月28～29日	埼玉県	戸田市道満ソフトボール場
西日本	11月14～15日	高知県	高知市春野総合運動公園
ウォーキング	9月26～27日	新潟県	「全国交流ウォーク」長岡市山古志
ミックスバレーボール	11月28～29日	石川県	いしかわ総合スポーツセンター・金沢市中央民体育館(28日のみ)
新春マラソン	16年1月10日、17日	神奈川、愛知、大阪、和歌山、兵庫、福岡	=16年1月10日 滋賀=16年1月17日
スキー	16年3月5～6日	長野県	戸狩温泉スキー場

# 2015年度全国会議及び主要事業予定一覧 (2015年9月～2016年3月)

月日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
<b>【2015年】</b>		
9月	26～27日	全国交流ウォーク「山古志へ行こう！」
		徳島：反核平和マラソン
10月	5日	ひろば11月号発行
	10～11日	第8回東海ブロックスポーツセミナー I N 三重
	16日	東北B会議
	17日	関東B会議
	24日	第31回全国スポーツ祭典第2回実行委員会
11月	2日	ひろば12月号発行
	3日	東京水泳競技大会兼全国水泳競技大会
	6～9日	仏・韓招待 (50周年記念シンポ)
	7日	連盟創立50周年記念行事 (国際シンポ、レセプション)
	7～8日	31期第2回評議員会、第7回理事会
	15日	第21回全国サッカー競技西日本大会
	15日	第6回Foot a 7全国交流大会 (大阪)
	14～15日	第49回全国軟式野球大会 (福岡)
	14～15日	第6回西日本ソフトボール大会 (高知)
	14～15日	2015年度6人制男女全国バレーボール競技大会 (徳島)
	22日	第21回全国サッカー競技東日本大会 (宮城)
	23日	四国ブロック会議 第5回ゆりかもめリレーマラソン (東京)
	28～29日	第12回東日本ソフトボール大会 (埼玉)
	28～29日	第19回全国シニアサッカー大会 (千葉)
	28～29日	全国テニス選手権大会 (高知)
12月		富山県連盟総会
	5～6日	第13回全国バドミントン競技大会個人 (名古屋)
	6日	愛知：高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン
	12～13日	31期第8回理事会
	13日	第21回全国サッカー競技Final大会 (千葉)
	19日	第31回全国スポーツ祭典第3回実行委員会
	19～20日	第51回全国卓球選手権大会一般の部 (京都)
<b>【2016年】</b>		
1月	10日	全国縦断新春マラソン (神奈川, 愛知, 大阪, 和歌山, 兵庫, 北九州, 福岡)
	17日	全国縦断新春マラソン (滋賀)
	16～17日	第51回全国卓球選手権大会年代別の部 (岡山)
2月	13～14日	31期第3回評議員会・第9回理事会
3月	12～13日	32回定期全国総会

\* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

作成 2015年9月9日

## 東北復興支援 「義援金」報告 2015年9月8日現在

前回通信No.7掲載以降の募金・充当

義援金(スポーツ連盟支援募金)は、ありませんでした。

行事・競技会、ボランティア活動への支援金

全国卓球福島県大会	2015/7/6	150,000
-----------	----------	---------

募金 残高	<b>1,197,131円</b>
-------	-------------------